

# ピノチヨとなつかしの

# 絵本

2002年4月28日(日)-11月4日(月) 土・日・祝のみ開館  
ゴールデンウィーク(4/28-5/6)と夏期(7/15-9/16)は無休

PINOCCCHIO



西村アヤ画「ピノチヨ」

MUSÉE LE VENT



軽井沢 ルヴァン美術館

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉957-10

Tel:0267-46-1911 Fax:0267-46-1910

[http://shinshu.online.co.jp/museum/le\\_vent/](http://shinshu.online.co.jp/museum/le_vent/)



# 大正の文化人たちのもとめた心のユートピア

## 12歳の少女が出版した日本初のピノキオ



大正時代は面白い時代だ。大人が立派な大人であるのが建て前であった明治時代からみると、大人に子供の心が欲しくなり、そのほうが人間的だと思った大正の作家たちは子供の世界にあこがれて童話を書いたりした。

イタリアの有名な童話「ピノキオ」が初めて日本で本になって紹介されたのはその頃で、それは小学生の少女、西村アヤによってであった。英訳の「ピノキオ」を夕食後に父が訳しながら話してくれた物語を自分で絵を入れながら雑記帳に書いていった。当時、新聞、雑誌に大きく紹介されて人々に衝撃をあたえたものである。

大正の文化人たちの求めた心のユートピア、その一つである大正の童話は他の時代と異なった雰囲気を持っていると思うのである。

館長 西村八知

文化学院創立者西村伊作の長女アヤが1921年に出版した日本初訳の「ピノチヨ」の原画とともに大正、昭和初期の絵本や絵本雑誌が相次いで刊行された時代の雰囲気を伝える絵本の挿絵一武井武雄、初山滋、川上四郎、岡本帰一、山本鼎、清水良雄、竹久夢二、村山知義、本田庄太郎、深沢省三等の作品と全盛期の絵本を展示。



初山滋画「アリス」



出開美千子画



武井武雄作「ピノッチオ」



1922年創刊号



1915年創刊号



1904年創刊号



1908年創刊号

入館料: 一般 800円 大・高 600円 中・小 400円  
 開館期間: 4月28日(日)-11月4日(月) 土日祝のみ開館  
 10:00-17:00(夏期-18:00)  
 (入館は閉館時間30分前まで)  
 無休期間: ゴールデンウィーク 4月28日(日)-5月 6日(日)  
 夏期 7月15日(月)-9月16日(日)  
 カフェテラス: "Rolling Pin" ミュージアムショップ: "LeVent"  
 ※ヴィオラ・チェロデュオ! コンサート 8月24日(土) 19:00  
 (シュツットガルト室内管弦楽団首席奏者)

- JR長野新幹線「軽井沢駅」下車  
または、乗り継ぎしなの鉄道  
「中軽井沢駅」下車車で3Km  
※夏期は両駅より路線バス運行
- 上信越自動車道「碓氷・軽井沢IC」  
より12Km  
軽井沢バイパス18号「鳥井原」  
交差点(歩道橋)より杉瓜方向へ  
1.5Km
- 駐車場 20台収容



※このチラシをご持参の方は4名様まで割引致します。